特　集

風鎮祭2013

「阿蘇と天草の横軸連携」が結実

8月17日と18日の両日、高森中心部の商店街一帯で「風鎮祭」が開催されました。

今回の特色は、熊本最西端の天草市役所牛深支所から40人を越える「牛深ハイヤチーム」が参加し、町民総踊りとステージでハイヤ踊りを披露したことです。

昨年から始まった「阿蘇・天草地域の横軸連携」を本気で取り組み、さらに加速させようと、４月の「牛深ハイヤ祭り」に高森町から住民・職員およそ40人が参加しました。その席上、天草市の安田公寛市長は「８月の風鎮祭では牛深ハイヤ踊りを披露したい」とあいさつし、今回の運びとなりました（詳細は５月号に掲載）。

「阿蘇・高森のおもてなし」で歓迎

風鎮祭では、天草・牛深地域との交流を盛り上げようと、海や天草をモチーフとした造り物を作ったり、町職員と住民による牛深ハイヤ踊りの合同練習を行うなど、高森ならではの歓迎を行いました（造り物は７面に掲載）。

高森町と天草市。阿蘇と天草の自治体が「熊本の横軸形成」を先頭になって取り組むことで、その後の地域連携へ波及するなど多くの効果が期待されます。

そのスタートへ向け、大きくご尽力いただいた天草市の安田市長、中村五木市議、天草市役所、高森町の住民や各種団体の皆さまのおかげで、今回の風鎮祭は「阿蘇・高森のおもてなし」を存分に発揮したものとなりました。

8月17日

　風鎮祭は、午前零時の「目覚まし」で開幕。高森市街地一帯に祭りの始まりを告げました。
　各地で行われた「子ども手踊り」や、熊本県警音楽隊によるパレードが祭りを大いに盛り上げていきました。
　夕方になると、観光交流センターで開会式が開かれ、勇壮な風鎮太鼓が披露されました。

▲ハイヤ踊りに先立ち、あいさつする草村町長と安田天草市長（写真右端）

　ここで、今回の特別ゲスト「天草市役所・牛深ハイヤチーム」が合流。総踊りに向け、多くの観客が中央四つ角に集まると、祭りは最高潮へ。
　午後６時、町民総踊りでは「牛深ハイヤ節」と「高森音頭」を交互に踊り、高森町と天草市の交流が一層深まりました。
　さらに、午後７時から観光交流センターで牛深ハイヤの「舞台踊り」が披露。息のそろった本場のハイヤ踊りに歓声が上がりました。
　午後８時 30 分からは約 700 発の打ち上げ花火が夜空を彩りました。

8月18日

２日目は五町の向上会競演が行われる中、10時から観光交流センターで再び「牛深ハイヤ舞台踊り」を披露しました。
午後からも多くの団体が出演。会場からさかんな拍手が送られました。

午後６時からは神事「節刀渡し」が執り行われ、年番の下町向上会が祭りの一切が滞りなく終了したことを報告し、祭りの一切を昭和向上会に引き継ぎました。
午後９時から中央四つ角の特設ステージで「にわかコンクール」が開催され、多くの参加者が見守る中、五組向上会が腕を競いました。

神事「節刀渡し」
年番が下町向上会から昭和向上会へ引き継がれました

にわかコンクール
優勝は「上町向上会」

造り物審査結果

　8月18日、午後3時30分から造り物を引き回す「山引き」が行われました。

　今回作られた造り物は11基。審査結果は次のとおりです。おめでとうございます。

特賞

▲ハイヤを踊る鯱（旭通下組）

金賞

▲高森風鎮祭で天草観光を招くシオマネキ（旭通上組）

金賞

▲じぇじぇじぇ　かまきり（上町上組）

金賞

▲天草名物　天空まぐろ（下町二組）

銀賞

▲牛深ハイヤを躍るガラカブ（下町三組）

銀賞

熊本市現代美術館賞

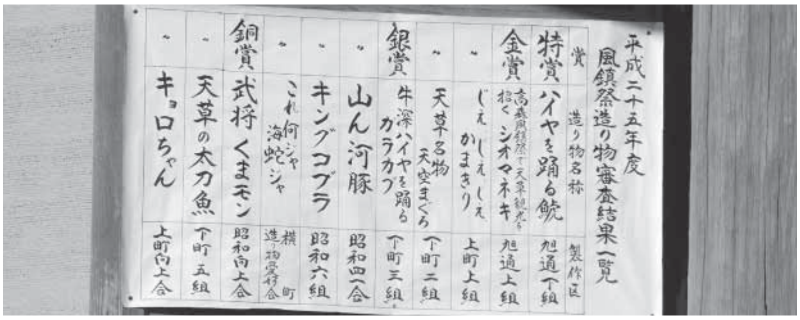
▲山ん河豚（昭和四一会）

銀賞

▲キングコブラ（昭和六組）

銀賞

▲こりゃ何ジャ海蛇ジャ（横町造り物愛好会）



平成二十五年度
風鎮祭造り物審査結果一覧

賞	造り物名称	製作区
特賞	ハイヤを踊る鯱	旭通下組
金賞	高森風鎮祭で天草観光を招くシオマネキ	旭通上組
〃	じぇじぇじぇ かまきり	上町上組
〃	天草名物 天空まぐろ	下町二組
銀賞	牛深ハイヤを踊るガラカブ	下町三組
〃	山ん河豚	昭和四一会
〃	キングコブラ	昭和六組
〃	これ何ジャ海蛇ジャ	横町造り物愛好会
銅賞	武将くまモン	昭和向上会
〃	天草の太刀魚	下町五組
〃	キョロちゃん	上町向上会

銅賞

▲武将くまモン（昭和向上会）

銅賞

▲天草の太刀魚（下町五組）

銅賞

▲キョロちゃん（上町向上会）